

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 27 年 4 月 23 日 (2015.4.23)

【公表番号】特表 2014-516530 (P2014-516530A)  
 【公表日】平成 26 年 7 月 17 日 (2014.7.17)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-038  
 【出願番号】特願 2014-511717 (P2014-511717)  
 【国際特許分類】

C 1 2 N 7/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 7/00 Z N A

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 3 月 3 日 (2015.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

Z J C I V イヌインフルエンザウイルスの H A 及び N A 遺伝子並びに P R 8 ウイルスの P A、P B 1、P B 2、M、N P 及び N S 遺伝子からなる六つの内部遺伝子を含むイヌインフルエンザ組み換えウイルスであって、

前記イヌインフルエンザウイルスの H A 遺伝子のヌクレオチド配列が、

( 1 ) 配列番号 1 に示すアミノ酸配列をコードするヌクレオチド配列；

( 2 ) 配列番号 1 に示すアミノ酸配列と 9 8 % 以上のホモロジーを有するアミノ酸配列をコードするヌクレオチド配列

からなる群から選択され；

前記イヌインフルエンザウイルスの N A 遺伝子のヌクレオチド配列が、

( 1 ) 配列番号 2 に示すアミノ酸配列をコードするヌクレオチド配列；

( 2 ) 配列番号 2 に示すアミノ酸配列と 9 8 % 以上のホモロジーを有するアミノ酸配列をコードするヌクレオチド配列

からなる群から選択されるイヌインフルエンザ組み換えウイルス。

【請求項 2】

前記イヌインフルエンザウイルスの H A 遺伝子が、配列番号 3 に示すヌクレオチド配列を有し、または、前記イヌインフルエンザウイルスの H A 遺伝子が、配列番号 3 に示すヌクレオチド配列と 9 8 % 以上のホモロジーを有する配列を有する、請求項 1 に記載のイヌインフルエンザ組み換えウイルス。

【請求項 3】

前記イヌインフルエンザウイルスの N A 遺伝子が、配列番号 4 に示すヌクレオチド配列を有し、または、前記イヌインフルエンザウイルスの N A 遺伝子が、配列番号 4 に示すヌクレオチド配列と 9 8 % 以上のホモロジーを有する配列を有する、請求項 1 に記載のイヌインフルエンザ組み換えウイルス。

【請求項 4】

イヌインフルエンザを予防又は治療するための、請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか 1 項に記載のイヌインフルエンザ組み換えウイルスの使用。

**【請求項 5】**

請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか 1 項に記載のイヌインフルエンザ組み換えウイルスを含有するインフルエンザワクチン。

**【請求項 6】**

Z J C I V イヌインフルエンザウイルスの H A 遺伝子及び N A 遺伝子をそれぞれ別々に含む組み換えプラスミドを構築すること；

前記 H A 遺伝子の組み換えプラスミド及び N A 遺伝子の組み換えプラスミドと、 P R 8 ウイルスの P A、P B 1、P B 2、M、N P、及び N S 内部遺伝子をそれぞれ別々に含む 6 つのプラスミドとを、2 9 3 T 細胞にトランスフェクションさせて、トランスフェクション後の細胞を培養すること；

培養細胞上清をニワトリ胚に接種し、ニワトリ胚尿膜腔液を得るために該ニワトリ胚をインキュベーター内で適切な時間培養すること、当該尿膜腔液の赤血球凝集性を測定すること、赤血球凝集活性がある場合、配列解析により意図しない変異が含まれないことを確認して、イヌインフルエンザ組み換えウイルスを得ることを含む、請求項 1 に記載のイヌインフルエンザ組み換えウイルスの製造方法。

**【請求項 7】**

前記組み換えプラスミドが、空ベクターとして使用した P B D ベクターを含有する、請求項 6 に記載の製造方法。

**【請求項 8】**

培養細胞上清が、9 ~ 1 1 日齢のニワトリ胚に接種され、ニワトリ胚尿膜腔液を得るために該ニワトリ胚が 3 7 のインキュベーターで 4 8 ~ 7 2 時間培養される、請求項 6 又は請求項 7 に記載の製造方法。